

12/8

## 姉妹都市フィリピン共和国マリキナ市「Rehiyon-Rehiyon Festival」に参加

姉妹都市であるフィリピン共和国マリキナ市において、市政 23 周年祝賀及び伝統と文化継承をテーマとし、カラフルな伝統衣装を着た学生たちがそれぞれの地域の文化をダンス等で紹介する「Rehiyon-Rehiyon Festival」が開催され、橋本町長をはじめ倉持議長や町関係者が招待されました。

マリキナ市では、テオドロ市長、副市長、市議会議員の方々と面会し、町を家族の一員として盛大に歓迎いただくとともに、今後の相互交流推進を図りました。



フェスティバルの様子  
あいさつを行う橋本町長



テオドロ市長より歓迎を受ける橋本町長と倉持境町議会議長

11/30

## 第 31 回アルゼンチンの日の集い

長田小学校にて、「第 31 回アルゼンチンの日の集い」が開催されました。

今年も、アルゼンチン共和国大使館から、アラン・ペロー特命全権大使とマティアス・バビーノ公使を招待し盛大に行われ、アルゼンチン共和国派遣事業に参加した児童 13 名による現地での体験報告や児童らの歌の発表で大使一行を歓迎しました。その後、大使一行と児童との交流給食が実施され、午後の長田小フェスティバルでは、各クラスの企画や展示を 1 つ 1 つ巡り、笑顔で交流されました。



ペロー大使から記念シャツとお菓子のプレゼントを受け取る児童たち



笑顔で児童と交流するペロー大使  
交流給食の様子

11/24

## そば打ち名人選手権で新吉町の鹿久保喜一さんが 2 連覇達成 !!

VOICE

第 6 回  
そば打ち名人選手権  
in SAKAI

優勝 新吉町  
鹿久保喜一さん



優勝コメント

2 連覇を目指して、今年は「十割蕎麦」で勝負しました。普段皆さんが食している「二八蕎麦」より技術が必要ですが、こだわりのそば粉を使用し仕込みに時間をかけて丹精込めて作りました。その結果、2 連覇を達成することが出来てとても嬉しいのです。

来年は、「自家製つゆ」に挑戦して 3 連覇を懸けて頑張りたいです。

道の駅さかいにて、新そば祭りが行われました。境町近隣で採れた新そば粉を使用しそば打ち名人を決めるアマチュア参加者限定の「第 6 回そば打ち名人選手権 in SAKAI」では、5 チームが競い合い、投票券を購入した多くの来場者で賑わいました。

来場した皆さんは、5 種類の新そばの味比べをしながら、新そばならではのこしや香りを楽しみました。



2 連覇を達成した新吉町チームの皆さん



チケットは 2 時間で完売!



新そばの良い香りが漂います



TOPICS 防災特集

10/2

## (一社) 茨城県バス協会貸切委員会県西支部と大規模災害時における広域輸送等に関する協定を締結

境町役場にて、(一社) 茨城県バス協会貸切委員会県西支部 (沢木夫支部長) と大規模災害時における広域輸送等に関する協定の締結式を開催しました。この協定は、水害発生時に住民が町外へ広域避難を行うにあたり、民間の観光バス等を活用して要配慮者等の広域避難支援を行うもので、県内では初めての取り組みです。

協定締結後、令和元年 10 月 12 日の台風 19 号災害では、協定に基づき町から協力を要請。計 6 台の貸切バスが迅速に出動し、広域避難を支援しました。



台風 19 号での広域避難では計 6 台のバスが稼働しました

大規模災害時における広域避難輸送等に関する協定締結式  
茨城県高圧ガス保安協会猿島地方支部「防災倉庫等贈呈式」



左から中山副支部長、沢木支部長、橋本町長、笠原副支部長、小林地区役員

11/22

## 北良 (株) 及び (一社) 協働プラットフォームとの包括連携協定を締結 境町災害対策車両及びトレーラー納車式を開催

境町役場にて、北良 (株) (笠井健代表取締役社長) 及び (一社) 協働プラットフォーム (長坂俊成代表) と包括連携協定の締結式を開催しました。この協定は、電気・ガソリン・LP ガスを併用し、連続 1300 キロの長距離走行と一般家庭 1 週間分の電気を供給できるトリプルハイブリットカー及び普通自動車でけん引可能で気密性に優れ冷暖房完備の災害対策用トレーラーを開発した北良 (株) 及び町の防災支援に協力いただいている (一社) 協働プラットフォームとの連携を図ることにより、災害発生時の電源確保や避難所での生活支援、医療用等のスペースの確保等、災害支援を迅速に行えるよう災害対策の強化を目的としています。

協定締結式後には、境町災害対策車両及びトレーラーの納車式を開催しました。



非常用電源車として利用できる車両と医療用スペースとして活用できるトレーラー



左から (一社) 協働プラットフォーム長坂代表、橋本町長、北良(株)笠井代表取締役



トレーラー内は冷暖房完備で医療用スペースとしての活用も可能

12/3

## 佐々木和博氏が町の防災力強化のためふるさと納税で 2,000 万円を寄付

(株)金太郎ホーム代表取締役佐々木和博氏が、町の防災力強化のためふるさと納税で 2,000 万円寄付をされました。

この寄付は、寄付金の使い道を事前に指定し、返礼品を受け取らない「境町ふるさと納税クラウドファンディング」方式によるものです。今後、災害発生時の支援体制システムの研究開発と社会実験などに活用されます。



写真はイメージ  
寄付は災害復興に係る研究開発と社会実験の費用に活用



左から立教大学院 21 世紀社会デザイン研究科長坂教授、橋本町長、(株)金太郎ホーム佐々木代表取締役

10/2

## (一社) 茨城県高圧ガス保安協会猿島地方支部より防災備品の贈呈式を開催

境町役場にて、(一社) 茨城県高圧ガス保安協会猿島地方支部より防災備品の贈呈式を開催しました。この贈呈式は、平成 28 年 4 月に「災害時におけるガス等の供給に関する協定」を締結している同協会より、災害時に活用頂きたいと、防災倉庫・LP ガス発電機・LP ガス炊飯器・LP ガス三重コンロ及び付属品を寄贈されたことに伴い、執り行いました。



寄贈された防災備品 (一部)



目録を贈呈する (一社) 茨城県高圧ガス保安協会猿島地方地区風見支部長